



第1回ベトナムのヒトとサルのマラリアに関する国際シンポジウム

森林マラリアと人畜共通疾患としてのマラリアの生態疫学

近年のマラリアに関するアジア・アフリカにおける発見は、ヒトとサルに感染するマラリア原虫が従来考えられていたような厳密な宿主特異性を有していないことを示している。人畜共通疾患としてのマラリアは森林地域でヒトにもサルにも感染する。この事実は寄生虫学者、昆虫学者、疫学者そしてヒトとサルマラリアに関与する環境要因の研究者の一層精力的な共同研究が必要なことを意味している。本シンポジウムにおいては、ヒト、サル、その他のマラリアに関する研究者がアイデアを交換し、革新的な共同研究の課題を討論する。

9:00-9:10 開会の辞	秋道 智彌
9:10-9:25 挨拶、シンポジウムの目的	中澤 秀介
9:25-10:15 基調講演 カンフープロジェクト： ベトナムにおけるマラリアの長期微小環境疫学と対策	ロン P. マンヤン
10:35-12:15 第1会議 カンフーにおけるマラリア伝播	

1. 原虫検出

ベトナムにおける人畜共通疾患を引き起こすサルマラリアの分子疫学： 蚊の唾液腺とヒト血液中のマラリア原虫の研究	前野 芳正
カンフーで採集されたヒトマラリアではないサルマラリア原虫の同定	リチャード・カレトン
糞サンプル中のマラリア原虫の検出	中澤 秀介

2. 社会学的側面とヒト、サルの行動

カンフーにおけるラグライ民族のマラリア対する、意識、行動、生態の研究	ツオン・バン・モン、
カンフーのラグライ民族の人々の間で発生しているマラリア伝播にたいして 霊長類学者はどのように貢献できるか	マイケル・ハフマン
アノフェレス・ダイラスは何故かくもマラリアを媒介し、 何故かくもコントロールが困難であるのか	ゲン・ツエン・クワン

13:30-15:40 会議2 森林マラリア

1. トリマラリア

日本の野生並びに捕獲された鳥に検出されたトリマラリア	村田 浩一
都市東京のトリマラリアの媒介蚊の生態	津田 良夫
トリマラリアにおけるキューレックス・ピピエンス・パレンスの吸血行動と頻度	金 京純

2. サルマラリア

アジアのマカク属	アニンダ・シンハ
人畜共通疾患としてのサルマラリア原虫の分子生物学的検出	川合 寛

3. 環境

森林劣化とマラリア媒介蚊	小林 繁男
--------------	-------

4. 実験における新技術

媒介蚊の簡易便利な人工吸血装置の開発	三井 義則
--------------------	-------

16:00-18:00 会議3 将来構想の総合討論

私たちはここからどこへと向かって歩んでゆくのか	リチャード・カレトン
18:00 閉会の辞	門司 和彦